

住民自治協議会だより

第36号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

令和5年度 小田切住民自治協議会総会

4月21日開催

事業計画

住自協全体

- ・地域支え合い事業「お互助っ人」の推進
- ・乗合タクシー「かつら号」の利用促進
- ・福祉自動車の運営支援
- ・第3回小田切夏まつりの開催
- ・小田切八景切り絵展の開催
- ・講演会等地区全体集いの開催
- ・小田切地区年間活動の映像保存
- ・地域間交流事業の実施
- ・長野翔和学園との協働事業
- ・住自協だより発行

総務・安全防災部会

- ・各区自主防災訓練の実施
- ・防災体制検討の地区立体模型製作
- ・やまざと支援交付金事業、道路愛護活動
- ・明るい選挙推進と期日前投票の支援

福祉・健康部会

- ・「第3次小田切地区地域福祉活動計画」の推進
- ・第4回福祉大会の開催
- ・福祉委員会活動及び保健指導員活動の推進
高齢者の集い、喜寿祝賀会、サロン事業など
- ・民生委員児童委員活動
- ・老人クラブ・交流センター協働の健康講座

環境・地域活性化部会

- ・環境整備・美化活動推進及びゴミ集積所整備
- ・農作物の有害鳥獣対策
- ・地域活性化事業の展開
- ・山里整備隊協働の観光スポット整備

教育・文化部会

- ・交流センター、地公連連携の各種行事推進
- ・青少年子ども育成活動と次世代育成事業
- ・人権啓発活動推進など住民集会の開催

会長挨拶



竹内 勝

4月の総会に於いて、住民自治協議会会長という大役にご推挙頂きました竹内勝（裾花区）と申します。本来、役員のご改選年度ではございませんが前任会長の関口宜裕さんが辞任されることを受け、残任期間の1年間会長職を務めさせて頂くことになりました。もとよりその器では有りませんが役員各位、地区の皆様方のご支援・ご協力を賜り、当地区の抱える課題が解決出来るように総会テーマである「誰もが自分らしくそして共に支えあえる地域へ」を念頭に微力ではございますが少しでも前進出来るように頑張って参る所存で有ります。何卒宜しくお願い申し上げます。

支所長挨拶



倉島秀彦

4月1日付の人事異動により、小田切支所長に着任いたしました。こちらに参りましてひと月半ほど経ちますが、地域の皆様がひとつとなり、共にささえあいながら元気な地域づくりを推進されていると感じています。

新型コロナウイルスが一日も早く収束し、この令和5年度の住民自治協議会の皆様の活動が活発に実施され、より充実したものとなるよう願っております。

私も、小田切の皆様とお会いできた「ご縁」を大切に、微力ながら小田切のまちづくりに協力させていただきたいと考えております。よろしく願いいたします。

人事異動

●小田切支所

転入 支所長（文化芸術課長補佐） 倉島秀彦
転出 市民窓口課長（支所長） 山岸健二

●西部保健センター小田切担当保健師

新任 橋詰 香
退任 田中美帆（真島保健センターへ）

●小田切交流センター

新任 職員 竹元直美
退任 職員 山口奈津美

●地域たすけあい事業コーディネーター（社協）

新任 荻原秀久
退任 宮島 望

令和5年度 一般会計収支予算

<収入>

| | | |
|-------|-------------|-------------|
| 公的補助金 | 地域いきいき運営交付金 | 5,616,000 |
| | 補助金等 | 1,640,000 |
| 負担金 | 各区負担金 | 1,000,000 |
| | 団体負担金等 | 121,000 |
| 雑収入 | 寄付金等 | 96,465 |
| 繰越金 | 前年度繰越 | 2,416,535 |
| 収入合計 | | 10,890,000円 |

<支出>

| | | |
|--------|------------|-------------|
| 事業費 | 総務・安全防災部会 | 1,532,000 |
| | 福祉・健康部会 | 2,504,000 |
| | 環境・地域活性化部会 | 837,000 |
| | 教育・文化部会 | 1,247,000 |
| 運営費 | 事務局費 | 4,185,000 |
| 配分・委託費 | 各区配分、団体補助等 | 380,000 |
| 繰出金 | 福祉自動車等 | 120,000 |
| 予備費 | | 85,000 |
| 支出合計 | | 10,890,000円 |



令和4年度 喜寿祝賀会 4年ぶり開催

福祉・健康部会

喜寿祝賀会は3月3日、交流センターで式典のみで開催しました。対象は昭和20年4月2日以降生まれの学年
度男5名、女4名の9名です。お祝いに女性合唱団「こーる★ず〜」のコーラスと西山一二美さんの祝舞披露が
ありました。

続くコロナ下、祝い膳は持ち帰り弁当とし記念品に置き時計を贈りました。



NPO小田切オアシス わらび苗の販売



小田切オアシスは4月8日、小野平わらび園でアマわらび苗の販売を行いました。今年は25の個人や団体に約350kgを販売しました。販売価格は1kg 2千円です。5月からは同園内でわらび狩りが始まります。

観桜会 4年ぶりの開催

「塩生のエドヒガン」巡礼桜の観桜会が、4月14日4年ぶりに行われました。コロナ下で開催できない年が続きましたが、例年より早めに満開となった今年、桜舞う名木の下で12人が集い賑やかに楽しいひと時を過ごしました。



地域たすけあい活動情報 “みんながつながりささえあう小田切の輪”

いろいろあります! 使えます!!

おでかけに乗合タクシー「かつら号」

運行は月・水・金曜日 どなたでも乗れます

家事生活支援なら「お互助^{たすけ}っ人」

自宅周辺や生活の困りごと 地区内居住のどなたでも

通院は福祉自動車「ふれあい号」

自宅から病院へ 利用は社協に登録された人

とにかくお問い合わせを

小田切住自協 電話 229-1511



運行状況



こんなに行ける「かつら号」

安茂里駅へは北回りでも行けます

買い物 (安茂里)

ランチ
昼呑み

JR安茂里駅

宅配便発送

コインランドリー

八十二銀行



路線バス停

JAながの農協

理容/美容室

長野信金ATM

練成センター

新橋いこいの家

巡礼桜

全集落訪問

支所

交流センター

期日前投票は無料で送迎します

小田切の気象観測情報 スマホからも確認できます

小田切地区内には気象関係情報の観測地点が2か所あります。富士の塔に長野市の雨量観測計があり、川後の小田切児童館跡には長野建設事務所の道路情報があり気温、雨量、積雪量計を備えています。

観測記録はそれぞれのホームページで公開されています。

<富士の塔雨量計>長野市防災情報ポータルHP—雨量観測情報—富士の塔
<川後の観測情報>長野建設事務所HP—管内の道路情報—地点選択—川後



川後の観測装置

「2023年トルコ・シリア地震救援金」 日赤長野支部に送金

小田切地区住自協は、2月より区長会や文化芸能祭、各会議などで訪れたみなさんに募金をお願いし、4月の住自協総会をもって寄付された20,000円を日赤長野県支部に送金しました。

続いた計画事業の中止

- ・各団体の研修会
 - ・球技大会 (12月)
 - ・小田切地区各種団体長会 (1月)
 - ・文化芸能祭演芸部門 (3月)
- ※展示部門のみ開催

小田切夏まつり 8月11日(祝)

小田切地区夏祭り実行委員会は、今年の小田切夏まつりを8月11日(祝)開催で調整しています。盆踊りを中心に模擬店も計画しており、会場は昨年に続き小田切中学校グラウンドです。

小田切八景切り絵展 長野県立美術館で7月開催

今年の小田切八景切り絵展は長野県立美術館で開催します。会場は本館地下「しなのギャラリーA」で、期間は7月7日(金)～11日(火)の5日間で、入場無料です。ぜひご来館ください。

お達者教室 フレイル予防講座



交流センター、老人クラブ恒例のお達者教室が2月24日、11名の参加で行われ、フレイル予防の体調チェック法や日常の過ごし方を学び血管年齢測定もありました。フレイルとは「健康と要介護の中間」で、予防に取り組みれば要介護にならず元気で健康な状態が保てます。まずは適度な運動と栄養バランスの取れた食生活をこころがけましょう。

交流センター、老人クラブ恒例のお達者教室が2月24日、11名の参加で行われ、フレイル予防の体調チェック法や日常の過ごし方を学び血管年齢測定もありました。フレイルとは「健康と要介護の中間」で、予防に取り組みれば要介護にならず元気で健康な状態が保てます。まずは適度な運動と栄養バランスの取れた食生活をこころがけましょう。

4年度9地区合同成人式 1月8日芸術館

今年度から第一、第二地区（城山公民館）が独自開催となり9地区7公民館で開催。小田切の新成人は西部中学校区4名、裾花中学校区2名の6名、住自協から地元の工房「框」製はがきサイズ写真立てを贈りました。成人年齢が民法改正で令和4年4月から18歳に下がった最初の成人式で、名称は全国の会場で様々でしたが、ここでは従来どおりでした。



歴史民俗資料室に遮光カーテン追加（旧家庭科室）

12/20



巡礼桜 満開

4/6



第20回小田切文化芸能祭 展示部門のみ開催 体育館 3/5～11



花上地籍地滑り災害復旧工事 工期 3/13～6.3/15

4/25



INC住自協紹介番組「ハロー！JJK32」の小田切収録

4/7



やまびこ

新型コロナの感染症法上の位置づけが5月8日から「5類」とかいて、インフルエンザなど一般的な感染症と同じになり、マスクは4月13日から個人の判断に任された。真夏の暑い日差しを思うとホッとすが、脱着は今までの経験を活かして随時判断したい。20年1月クルーズ船内の集団感染に始まり、マスク不足や高値といろいろあったがマスク越しの顔合わせが一番大きな損失だった。